

# 中央区地域福祉アクションプラン

## 中央区あなたも私もみんなが主役

中央区アクションプランは「誰もが住み慣れた地域で安全・安心に暮らせるよう、共に生き相互に支え合う地域福祉の充実したまちの実現」をめざして、次の4つの方向性に沿って取り組んできました。

- 1 交流の場や機会づくり
- 2 情報提供や相談のしくみづくり
- 3 地域で支えるしくみづくり
- 4 区民活動支援のしくみづくり

平成20年度以降は、プランの柱を大きく次の3点に絞って取り組んでいます。

- 1 地域における取組みを中心としよう
- 2 地域支援システムとの連携を図ろう
- 3 地域福祉活動の担い手同士の、出会いの場を作ろう

### 平成22年度 取組み報告

#### 障がいのある人への理解の機会づくり事業

HANDSちゅうおうが中心になって取り組んでいます。毎月の定例会で、活動について話し合っています。HANDSちゅうおうは、中央区地域福祉アクションプランのなかで、「参加者の私たちで、できることから課題解決のために活動を始めてみよう」ということで生まれました。障がいのある人の支援に取り組んでいる区内の施設、関係団体、グループ、個人等が参加しています。

#### 「バリアフリー上映会」を開催

平成22年6月20日(日)中央会館において、音声解説・日本語字幕付きの映画「バリアフリー上映会『博士の愛した数式』」を上映しました。当日は170人を越える参加がありました。

また、会場を利用して地域の施設・団体の作品販売、物品紹介ブースが設置され、たくさんの方々とふれあう機会がもてました。



## 紙芝居を作成

昨年度から取り組んでいた紙芝居「盲導犬になりたかった僕」が完成しました。



## 地域の行事に参加



平成 22 年 10 月 3 日(日)「空堀・桃谷ふれ愛まつり」でバザーを出店。

10 月 24 日(日)「島之内ふれ愛フリーマーケット」でバザーを出店しながら、紙芝居「盲導犬になりたかった僕」をDVDで上映しました。同時に中央区内老舗店のみたらしだんごの販売を行ないました。

## 企業と住民との交流事業

中央区フィランソロピー懇談会（以下、略称CFK※）は、CFKを少しでも多くの人に知ってもらえるように、平成19年度より中央区民まつりのアクションプランのブースに出展し、企業と地域住民との交流の場を持ち続けています。

今年度も、「CFKクイズに答え、お菓子のつかみ取り」を行ない、360名の子どもたちにご参加いただき、賑やかなブースになりました。

また「CFKオリジナル福袋」をお土産に、関係諸団体のブースをまわり、広報を兼ねての交流を行ないました。



「CFK」とは、企業が地域に根ざした社会貢献活動について考え、行動することを目的とした企業・団体の集まりです。アクションプランには策定時の作業部会から参加しています。

## 地域における子育て支援事業

### 地域の子育て支援サークルの見学会を実施

平成22年4月に開催した「地域における子育て支援事業実行委員会」で、今後の取組み課題についての事前のアンケートを基に検討した結果、地域サークルの活性化のために、「地域の子育て支援サークル見学会」を実施することが決まりま



した。

見学会参加者：実行委員およびご一緒に参加を希望された各地域の子育て支援にかかわる方

見学会実施回数：平成22年6月から9月までの間に計12回実施

9月29日(水)には、実行委員・見学会参加者が学んできたことをお互いに持ち寄り振り返りの会議を行ないました。

会議では見学会参加者から「地域のボランティアのみなさんが、地域のお母さん・お父さんとのつながりを大事にしているところを学びたい」「各地域で工夫をこらして頑張っておられる様子がわかり参考になった」等の感想が出されました。

また、見学会後、サークルや地域に持ち帰って取り組んだことや地域で考えたことなどを紹介し合いました。見学を受け入れてくださった地域サークルのみなさんも、参加者の感想を通じて自分たちのサークルの特徴や活動の良いところに改めて気付くことができました。

実行委員会では、参加者より「地域の子育て支援サークル」の取り組みを持ち寄り、今後の活動にむけて情報交換と“町会等地域団体と子育て層との交流”についての話し合いを継続しています。

## 地域安全・見守り・ネットワークづくり事業

### 支え合いのマップづくりを実施

平成23年2月10日に、桃園地域で支え合いのマップづくりを行ないました。

住民流福祉総合研究所の木原孝久所長を講師として“住民がご近所でどのようにふれあい、助け合っているのか？”“要援護者はどのように生活を行なっているのか？”を1つの地図に集約することにより具体化し、実態と地域の課題や問題点を把握していくノウハウを学びました。



### 第2期アクションプランの策定に向けた取り組み

中央区アクションプラン推進委員会では、5年計画の最終年にあたる平成22年度、これまでの推進状況の確認と評価を行ない、今後の推進課題を明らかにしたうえで、来年度以降も引き続き取り組むこととし、「次期プラン策定会議」を平成22年12月3日・17日、平成23年1月27日に開催しました。

これまでの取り組みとともに、「要援護者支援のしくみづくり」「障がいの有無や世代を越えた交流の場や機会づくり」「誰もが福祉関連情報を手に入れられるような広報の強化」など、次期アクションプランの取り組みについて検討さ

れました。

## 地域福祉フォーラムの開催

### 「語ろう！みんなで福祉のまちづくり」

平成 23 年 3 月 5 日（土）、「地域福祉フォーラム」が中央区民センター区民ホールで開催されました。中央区地域福祉アクションプラン「地域福祉フォーラム実行委員会」が主催し、約 170 人の参加がありました。



第 1 部は、地域や団体で取り組んでいる活動の現状と思いが話されました。

- 地域で話し合い避難所開設訓練から防災に取り組む高津連合
- 安全安心に住み続けられるまちづくりに取り組む中大江西連合
- 企業と住民との交流に取り組む中央区フィランソロピー懇談会（CFK）
- 地域における子育て支援
- 障がいのある人への理解の機会づくり 等

また、中央区フィランソロピー懇談会による「出前講座」（有限会社ヒーリングプランによる「知るできる簡単ふれあいマッサージ」）を体験し、参加者全員で、楽しくふれあうことができました。



第 2 部では、関西学院大学人間福祉学部社会福祉学科の高杉助教にご参加いただき、つながりづくりの大切さについてメッセージをいただきました。



ホールには、取組を紹介するパネル等が展示され、参加者はふれあい喫茶実演コーナーで提供されるコーヒーを味わいながら、情報交換と交流を行ない、福祉のまち、人づくりに弾みがつくフォーラムとなりました

ふれあい喫茶実演コーナーは「団塊シニアのボランティア講座」終了メンバーのみなさんにお手伝いいただきました。

